



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 6月号 (No. 5)

令和3年6月11日発行

<< 2年ぶりの運動会 >>



躍動した“ひすいっ子”!



6月5日(土)糸魚川小学校の講堂を会場に、2年ぶりの運動会を実施しました。前日の大雨もすっかり上がり、ひすいっ子にぴったりの“晴れ”の天気となりました。屋内開催ですから天気のことを心配する必要はないのですが、それでも行事は“晴れ”、ひすいの伝統(?)です。

さて、運動会は、25名の児童生徒、25名の教職員、70名を超える保護者の皆さん等の応援団が集い、楽しくにぎやかな運動会となりました。今年はオリンピック・イヤーということで、開会式では児童生徒全員による聖火のトーチ・リレー行い、赤白の団長がひすいの聖火台に点火をする趣向もありました。子どもたちは3週間の運動会練習を生かして、応援合戦や種目、全校玉入れ、全校ダンス「がむしゃら行進曲」などで、自分らしさを発揮しながら一生懸命に頑張りました。

運動会前日の6月4日(金)は糸魚川市内で聖火リレーが行われ、その様子を体育館に設置した「ひすいっ子・ビューイング」で、全員で視聴しました。聖火が引き継がれるたびに子どもたちは拍手をし、運動会での聖火リレーをイメージしながら「希望の火」が繋がっていく様子を見ていました。



輝き・笑顔・元気“ひすいっ子”



◆風をきってすすめ 未来のアスリート



小学部の1・2年生にとっては、ひすいの里総合学校での初めての運動会です。個人種目では“うまくスラロームができるかな？”“大玉転がしは得意だよ！”“蜘蛛の巣ジャングルをうまく通れるかな？！”など、わくわくドキドキの気持ちでスタートラインに立ちました。サーキット運動で身に付けた動きを生かしてスムーズに関門をクリアすることができました。

◆みんなで運ぼう ひすいの宝を



“「ひすいの宝」は何だろう？”中学部の10人が力を合わせて“おもい”玉石をリレーしながら運びます。二人の想いを一つにしないと、井桁の神輿に乗った玉石は落ちてしまいます。そこはアイ・コンタクトで、バランス良く運ぶことができました。何やら、文字が書かれています。並べ替えてみると「げんき ぜんりよく たのしい中学部」ひすいの宝を見つけることができました。



◆デカパンじゃんけんりレー（ファミリー種目）



小学部は、子どもと大人がそれぞれデカパンの片方の足の部分に入り、一緒に走り、リレーするものでした。途中、じゃんけんの関門があり、勝たないと前に進めません。意気と力を合わせ、運を引き寄せてがんばりました。勝負よりも、和気あいあいとした光景が勝りました。



◆あるいてまわって ファミリータイフーン！（ファミリー種目）



中学部は、子どもと大人が一本の棒につかまり、コーンを回りながら前に進み、リレーするものでした。ただし、歩きます。外回り内回りで歩幅を調整するなど、互いを思いやる姿が印象的でした。